

オートウェブの 輝く人



千種サービスセンター
ピット長
齋藤 忠和



当社最年少ピット長ながら
旗艦店の千種サービスセンターのピット長に。
電気自動車をはじめとした
最新車両の整備に従事する2級整備士・検査員。

Q 齋藤さんは千種サービスセンターのピット長として活躍されていますが、簡単にプロフィールを教えてください。

A ありがとうございます。
私は、2014年4月に新卒入社し、車検整備を中心に、業務に従事してまいりました。当時26歳(2020年)の時に、ピット長に抜擢いただきました。現在は、作業入庫から出庫までの一連の流れをコントロールし、ミスが無いよう確実な作業を最優先に業務にあたっています。

Q 千種サービスセンターには様々な車種が入庫すると聞きます。どのような準備をされていますか。

A 当社工場には様々なメーカーの車が入庫します。例えば、フェラーリやランボルギーニといった、世界のスーパーカーから、トラックやマイクロバス、電気自動車まで本当に様々です。



中でもフェラーリは特殊です。車体を持ち上げるジャッキポイントや、オイル交換の方法さえも国産車とは異なります。



1台1台、その車にあった作業工程や注意すべき点がありますので、事前に確認準備し、当日の作業にあたっています。

また、先進技術への対応も全社を挙げて取り組んでいます。

Q 最新車両の整備、先進技術について詳しく教えてください。

A 現在発売されている車両は、必ずコンピューターで制御が行われています。自動ブレーキに代表される先進運転支援システムを搭載している車両ASV(Advanced Safety Vehicle:先進安全自動車)が増加しており、カメラセンサー・超音波センサーなど様々なセンサー類が正常に

機能することによって、安全・安心な走行が実現します。これまでの車検は目視で異常が無いか確認したり、ライト・ブレーキ・速度計など走行の基本になる部分の検査が主でした。このため、コンピューターで制御している部分の異常は発見出来ないため、令和3年10月からOBD点検(コンピューター診断機を用いた点検)が義務化されました。当社でも最新式のコンピューター診断機AUTELMaxisys909(AUTEL社=国に認められた法定スキャンツールメーカー)を全店に導入して、国産車はもちろん、輸入車にも対応しております。



また、コンピューター診断で先進運転支援システム(ADAS)に異常があった場合、カメラ・レーダーなどの調整(エーミング作業)が必要となります。このため当社では年3回の技術研修を実施して、新たな技術の習得に努めています。

Q ありがとうございました。最後に一言お願いします。

A これから自動車はEVをはじめ、大きな変化の時代が訪れます。その変化に対応するために、常に私たちは勉強して技術を磨き、お客様の安全・安心なカーライフに貢献できるように努力していきたいと思っています。ハイブリッドやEV、輸入車のオーナー様も安心して当社車検をご利用いただけます。是非、ご来店をお待ちいたしております。



当社は自動車に関わる事業を展開する企業として

「交通遺児育英会」

の活動を応援しています。



当社は、自動車に関わる企業として、全国で毎年3,000人近くの方が、交通事故で亡くなっているという現状を重く受け止め、企業活動を通じて道路交通上の安全に寄与するという理念を、全社員で共有しております。その一環として、交通事故によって、最も不利益な境遇に立たされてしまう「交通遺児」を支援するため、2019年12月より財団法人交通遺児育英会への寄付活動を行っております。

家庭の主な収入を支える親を亡くした子供は、経済状況が一変します。預貯金などが無い家庭では、進学などに大きな支障が出ることとなります。また、母子家庭となった場合、母親が非正規雇用の割合が5割を超えており、収入減により子供の進学に奨学金を必要としています。自動車を運転する人であれば加害者となる場合もあり、子供を持つ親であれば、被害者となる可能性もあります。当社はお客様も含め、より多くの方に「交通遺児」という方がいるという事と、微力ながらその支援ができることを、知っていただきたいと願っております。

当社では、新車ご成約1台につき10円、車検ご入庫1台につき10円、レジ袋1枚につき1円、従業員が配布した名刺1枚につき1円の寄付を行っており、加えてレジカウンターに募金箱を設置しております。

活動開始当初から累計で914,202円(2023年4月時点)寄付させていただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

お客様が交通事故を引き起こさないために、自動車の整備・修理を行う事は当社の使命です。しかし、交通事故はドライバーの安全不確認や不注意によっても発生いたします。当社では、道路交通上の安全に寄与するという理念のもと、お客様と共に、交通事故撲滅に取り組んでまいります。そのきっかけの一つとして、交通遺児育英会への寄付を通して、安全への想いを共有する一助となることを願っております。

参考

公益財団法人交通遺児育英会ホームページ <https://www.kotsuiji.com/>